

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	社会福祉法人 日本厚生学園 おきのはた			
○保護者評価実施期間	令和7年1月6日		～	令和7年1月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	17名	(回答者数)	17名
○従業者評価実施期間	令和7年1月6日		～	令和7年1月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	15名	(回答者数)	15名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年3月26日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、発達の状況や課題について共通理解ができている。	・連絡帳、バス送迎時、モニタリング、面談、電話での連絡など、状況に応じて確認している。 ・連絡帳で保護者からの相談があった場合、適宜職員間で共有し、都度話し合いを行っている。	・様々なアセスメントツールについて調べて、必要であれば取り入れていく。
2	職員の質の向上を目指している。	・研修に参加した職員が、その内容を他の職員に伝えている。 ・ティーチャーズトレーニングや強度行動障害支援者養成研修などを受講している。	・職員間での研修は継続しつつ、今後は外部の研修の機会を増やしていく。
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	他の放課後等デイサービス事業所との交流や活動する機会が不足している。	・開所したばかりで交流の機会がない。	・外部との交流を行った場合、保護者に活動内容を周知するとともに、障害のない子どもと活動する機会を設けることを検討する。
2	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会を設けて、家族への支援をする機会が不足している。	・開所したばかりでまだ行うことができていない。	・保護者会の活動は現在ありませんが、保護者の方が交流できる催しを、今後、開催していきたい。
3			